

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【公表番号】特表 2015-517765 (P2015-517765A)

【公表日】平成 27 年 6 月 22 日 (2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報 2015-040

【出願番号】特願 2015-511787 (P2015-511787)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 A

H 0 4 L 9/00 6 7 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 25 日 (2016.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク環境においてマスタネゴシエーションをサポートするための方法であって、

サブネット中のサブネットマネージャ ( S M ) を介して前記ネットワーク環境中の前記サブネットに対してサブネットディスカバリーを行なうことを備え、前記サブネットは複数の S M を含み、さらに

前記 S M を介して、前記サブネット中の他の S M と通信してある数の既知の秘密鍵をチェックすることと、

前記複数の S M からいずれかの S M をマスタ S M として選択することとを備え、前記マスタ S M は最も大きな数の既知の秘密鍵を有する一方で、各々の待機 S M は、前記マスタ S M にとって既知である秘密鍵と同じセットまたはサブセットを有する、方法。

【請求項 2】

ネットワーク環境においてマスタネゴシエーションをサポートするためのシステムであって、

1 つ以上のマイクロプロセッサと、

前記 1 つ以上のマイクロプロセッサ上で実行するサブネットマネージャ ( S M ) とを備え、

前記 S M は、

サブネット中のサブネットマネージャ ( S M ) を介して前記ネットワーク環境中の前記サブネットに対してサブネットディスカバリーを行なうように動作し、前記サブネットは複数の S M を含み、さらに前記 S M は、

前記 S M を介して、前記サブネット中の他の S M と通信してある数の既知の秘密鍵をチェックするように、かつ

前記複数の S M からいずれかの S M をマスタ S M として選択するように動作し、マスタ S M は最も大きな数の既知の鍵を有する一方で、各々の待機 S M は、マスタ S M にとって既知である秘密鍵と同じセットまたはサブセットを有する、システム。

【請求項 3】

前記 S M は、1 つ以上の到達可能なポートが 1 つ以上の既知の M\_Key と関連付けられれば、前記 1 つ以上の到達可能なポートを発見されたトポロジーの一部として含むように動作する、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記 S M は、未知の秘密 M\_Key を有するポートをサブネットの一部でないものとして扱うように動作し、このポートを超えてはディスカバリーを全く試みない、請求項 2 または 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記 S M は、

ファームウェアバージョンが混在する場合、

前記複数の S M 間で既知の鍵の数を比較する際に結び付きが存在する場合、および

前記複数の S M をホスティングする 1 つ以上のノードが整合状態にある状況でイネーブル / ディスエーブルトランザクションが開始された場合、

の少なくとも 1 つの場合に、マスタネゴシエーションのための判断基準として優先順位 / GUID を用いるように動作する、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 6】

前記 S M は、秘密管理鍵がイネーブルされた S M が 1 つ以上のサブネット管理エージェント ( S M A ) を更新し、最終的にサブネットを管理下におくことを可能にするように動作する、請求項 2 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

前記 S M は、パーティションデーモンと同期して、起動の際に初期ディスカバリーを開始する前に、現在の秘密鍵情報とパーティションコンフィギュレーションのための現在の有効状態との両方を獲得するように動作する、請求項 2 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

パーティションデーモンは、非対称インターフェイスを用いて、前記 S M の状態とは独立して、ランタイムの間に、パーティションコンフィギュレーション有効状態の任意の変化を S M に伝送するように動作する、請求項 2 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 9】

S M は、各々の S M と関連付けられるパーティションコンフィギュレーション有効状態に基づいて、前記複数の S M からいずれかの S M をマスタ S M として選択するように動作する、請求項 2 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 10】

現在のマスタ S M は、

パーティションコンフィギュレーション有効状態とともに過渡コミット進行中状態を前記 S M に与えるように、かつ

更新トランザクションの実行の間、現在のマスタ S M と関連付けられるパーティションコンフィギュレーション有効状態を無視するように、動作する、請求項 2 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 11】

機械可読 プログラム であって、実行されると、システムに、以下のステップを備えるステップを実行させる命令を 含む であり、前記以下のステップは、

サブネット中のサブネットマネージャ ( S M ) を介してネットワーク環境中のサブネットに対してサブネットディスカバリーを行なうステップを備え、前記サブネットは複数の S M を含み、さらに

前記 S M を介して、前記サブネット中の他の S M と通信してある数の既知の秘密鍵をチェックするステップと、

前記複数の S M からいずれかの S M をマスタ S M として選択するステップとを備え、前記マスタ S M は最も大きな数の既知の鍵を有する一方で、各々の待機 S M は、前記マスタ S M にとって既知である秘密鍵と同じセットまたはサブセットを有する、プログラム。

【請求項 1 2】

請求項 1 に記載の方法をコンピュータに実現させるためのコンピュータプログラム。